

こころ医療福祉専門学校佐世保校  
令和3年度第1回教育課程編成委員会議事録

1 日時 令和3年5月23日（日）10:00～10:50

2 場所 こころ医療福祉専門学校佐世保校 3階 会議室

3 委員 出席：田中秀樹（長崎県柔道整復師会佐世保支部）  
上田陽介（純心整骨院）  
藤原善行， 舘川大輔， 篠原卓也， 高田一樹， 鴨田亮平  
欠席：井手浩二（いで整骨院）

（敬称略）

4 主な内容

（1）開会のことば（司会 舘川大輔）

本会の開会目的及び配付資料の確認を行う。

（2）委員の紹介（司会 舘川大輔）

各委員紹介及び本校職員紹介を行う。

（3）校長挨拶（校長 藤原善行）

① 日頃のお礼

② 本日の委員会の趣旨

ア 教育課程編成委員会について

（ア） 昨年度の反省

（イ） 本年度の4月～5月までの取り組みの現状と課題

（ウ） 本年度の6月以降の取り組み

（エ） その他

イ 学校関係者評価委員会について

（ア） 令和2年度の教育活動の成果と課題

（イ） 現代社会や業界のニーズ

（ウ） 学校活性化へ生かす

（4）スポーツ柔整科の現状及び分科会報告（学科長代行 篠原卓也）

① 現状報告

ア 第29回柔道整復師国家試験合格者について

全国は3,165名受験し，2,709名が合格（85.6%）

佐世保校は17名受験し，15名が合格（88.2%）

長崎校は25名受験し，24名が合格（96.0%）

イ 就職状況について

卒業生17名中17名全員が関連業種へ就職。

ウ 入学者について

令和3年度の新1年生は定員30名に対して、18名入学。

エ 臨床実習について

昨年度はコロナウイルスの影響により外部実習を中止し、令和3年3月8日から3月19日の間で内部実習を実施。今年度は90時間の外部実習予定。

オ 新型コロナウイルス感染症対策について

非常勤講師の授業を原則リモート授業として実施。

学生及び教職員は毎朝自宅で検温し、記録用紙に記入。

教室、職員室等の換気と除菌。

学生及び教職員は県外移動を自粛。

カ 臨床実習指導者講習会について

例年、11月に長崎校と合同で開催しているが、コロナ感染拡大のために昨年度に引き続き今年度も未定。

② 委員意見等

(田中委員) **今年度の学生募集の方針はあるか。**

(篠原) 高校生募集について

現在のところガイダンスは実施されており、昨年に比べ見込みはあると考えている。ただし、今後、ガイダンスが中止になることも考え、広告掲載の強化を同時に行っていく。(ネット TV, インスタグラム, YouTube など)

社会人募集について

コロナ禍で職を失った人や転職を考えている層も増加傾向にあるため、社会人からの資料請求については、パンフレットを送付するだけでなく社会人に特化した資料(在校生の年齢紹介, 社会人在校生の就職率など)など加えながら送付をしていくよう準備を進めている。

先生方へお聞きしたいが、社会人が専門学校を選ぶ際のポイントは何か。

(田中委員) 学費の面は大きい。その他では学校へ進学後のフォローもポイントである。

佐世保校の場所は交通の便もいいしメリットはある。

(上田委員) 在校生が興味を持っている知り合いなどへ学校を薦める場合がある。国家試験を目指す専門学校への入学は勉強についていけなくて大変なイメージがあるため、先輩が後輩によい宣伝できるような形を作ることができれば柔整師を目指す人が増える。そのため、在校生へアプローチするとよい。

(篠原) 現在、在校生の紹介キャンペーンを实际やっており、興味がある知り合いをオープンキャンパスへの誘ってもらうことで特典がある。

(田中委員) 昨年度卒業生の就職先内訳を知りたい。

(篠原) 佐世保市 7 名, 長崎市 1 名, 福岡県 3 名, 佐賀県 3 名, 愛知県 1 名, 神奈川県 1 名, 宮城県 1 名。全員が整骨院関係に就職。県内就職率は 47.1%。

(田中委員) 県内就職を進めているか。

(篠原) 本人に任せている。県外でもそれぞれで就職活動をするよう指導している。

(田中委員) 県内の高校では新型コロナや、震災等の心配があるが、現在の学生の考えはどうか。

(篠原) 学生とは随時面談をしており、多くは県内希望者が多い。今年の学生ほとんどは九州の中で考えている。

(藤原校長) 県外学生の割合がどの程度を占めているかで変わってくる。佐世保校の県内就職率は 47.1%であった。また、長崎校の県内就職率は 70.4%であった。思いとしては 80%を維持したい。

(田中委員) 国家試験不合格者への対応は、どのようなことを行っているか。

(篠原) 全国的に既卒生の国家試験合格率は低い。このことから結果発表後に個別面談を実施し、主に、次の内容を提案している。

①必要な国家試験対策授業を聴講生として受講することを勧める。

②本校で使用している外部模試を紹介する。

以上 2 点だが、既卒生の合格率を上げる方法として先生方の御意見をいただきたい。

(田中委員) 今年の卒業生で上記 2 点の対応をしている学生はいるか。

(篠原) 聴講生はいない。模擬試験は紹介している。

(田中委員) 卒業生を空いた時間に学校へ呼ぶことが可能であれば呼んで指導した方がよい。やはり自分一人での勉強だけでは限界がある。先生たちで協力して卒業生へのバックアップをしっかりと行ってほしい。ところで卒業生とは連絡を取り合っているのか。

(館川) 月に 1 回は連絡を取っており、時期別でどのような勉強をしたがよいかなどを伝えている。

(上田委員) 今年度の校外活動の方針はあるか。

(篠原) 例年であれば、学校 PR と在校生に臨床の場を提供し、経験させる目的でイベントなどに参加しコンディショニングブースでの活動を行っていた。しかし、コロナ禍においてすべて中止となっている。また、イベント主催側からの依頼もない状態が続いている。今後も高校訪問の際にこのような活動ができないかお願いすることとしている。

(上田委員) 臨床実習が内部実習となった場合、どのような内容を検討しているか。

(篠原) 昨年度はコロナウイルスの影響により外部実習を内部実習に変更し、介護分野、臨床に特化した実技、硬性素材を用いた固定具作成、整体、身体評価や認定実技審査の内容で実施した。今年度も内部実習となった場合、昨年度に内部実習を受けた学生に聞き取りを行い、より充実した教育内容となるように工夫することになっている。

内部実習はどのような内容にした方がよいか。先生方の御意見を伺いたい。

(田中委員) 現場では外傷が多いため、外傷や診断、レントゲン、超音波などの実技を入れるとよいと思う。

(上田委員) 今までの内容で問題ないと思うが、テスト法など入れるとよいと思う。

(上田委員) 学生募集において、どのような層を今後ターゲットに募集していくのか。

(篠原) 対象者とエリアを分けている。

(1) 対象者

①高校生： 理学療法士や介護福祉士などに興味をもっている人に柔道整復師を知ってもらう。

②社会人： 20代～30代でコロナ禍によって職を失った人や転職を希望する人を対象とする。

(2) エリア

①県北、武雄、伊万里エリア

(上田委員) なぜ、理学療法士は人気なのか。リハビリがよいなら柔道整復師でもよい。

(田中委員) 理学と柔整の違いとしては雇用の問題がある。理学療法士は病院ベースの雇用や収入が安定している。そもそも柔道整復師の名前を知らないことが多い。仕事内容や将来像を明確にすることが必要である。

## 5 閉会のことば (司会 館川大輔)

(主な内容)

- (1) 令和2年度の総括、反省
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策
- (3) 令和3年度のこれからの取り組み